

2022 今年の ベスト商品

③ メタバース

インターネット上の仮想空間「メタバース」でビジネスをしたり、娯楽体験や教育を提供したりする企業や大学が相次いだ。活用は今後も広がり、ドイツの調査会社スタティスタは2030年には世界市場が100兆円規模に迫ると予測する。半面、誰もが安心して利用できるルールの整備が課題となっている。

メタバースは、米フェイスブックが21年10月に「メタ」に社名変更したことをきっかけに関心が高まった。ネットを利用した3次元

の空間のことで、ゴーグル型端末を使うと空間に入り込んだ感覚になる。「離れた場所にいる人がつながり、今までできなかったことができる」。メタ日本法人の味沢将宏代表は利点を強調する。

大和ハウス工業は今年4月、仮想空間上の住宅展示場を公開。これまで100組以上の客が「見学」



KDDIが東京・渋谷を再現した仮想空間で開いたハロウィーンイベント(同社提供)

仮想空間で仕事や娯楽

し、従業員が分身「アバター」で接客した。ソフトバンクは6月から仮想空間上の店舗で携帯電話の機種変更などの相談を受け付けている。

娯楽に活用する動きもある。KDDIは10月、東京・渋谷や大阪を再現した仮想空間でハロウィーンイベントとして歌手のライブなどを開催。ソニーグループの吉田憲一郎会長兼社長も「ゲームや映画、音楽の楽しみ方が広がる」と期待する。

教育分野では、東京大が中高生や社会人にデジタル技術などを教える「メタバース工学部」を設立した。需要が高まるデジタル人材を育てる。

ただ利用拡大に伴い、仮想空間で他者から性的な言葉をかけられるトラブルも発生している。知的財産権の保護などに関するルールも未整備で、政府は企業とも連携して対策を検討している。